

鶴見川水系梅田川

Tsurumigawasuikei UMEDAGAWA

子どもの成長を見守る川。

横浜らしい谷戸(※1)と大規模に広がる森の風景が調和すること。これが、改修にあたっての課題でした。自然度の高い風景にマッチするよう玉石護岸を設置し、低水路整備では、平常時の水深を確保するとともに、瀬(※2)や淵(※3)を復元したことに工夫をこらしました。また、より利用しやすい川になるよう、隣地にある公園との一体的な整備を実施しています。

平成10年には、子どもたちの水辺での遊び、自然体験を支えるため、地域の学校・PTA・自治会、市民団体などが連携し、自然環境あふれる安全な水辺づくりを行う「水辺の楽校プロジェクト」(※4)の登録を受けました。流域の自然を大切にしながら、人々が集い憩える場、また体験・学習の場として水辺を活用していくことを通じ、子どもたちの健やかな成長を支え育んでいます。毎年夏には「一本橋メダカひろば」で川と親しむイベント「こども川の日」を開催しています。

※1 丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形。

※2 川の流れが早く浅いところ。

※3 川の流れがゆるやかで深いところ。

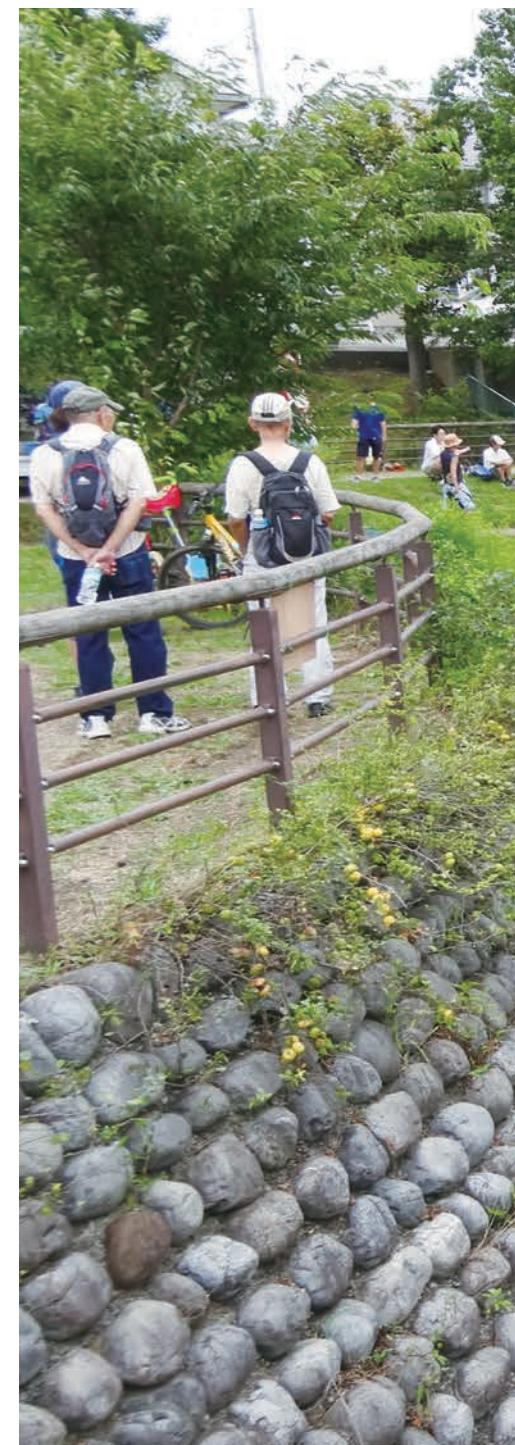
※4 市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進するプロジェクト。平成22年3月末現在、全国で279箇所が登録されており、各地域の特色を活かした様々な取り組みが展開されている。



N35度31分7秒 E139度31分18秒
(35.518, 139.522)



Before



After

